

上牛は素の康健

品

婦人用品 品り 新京家產業 商店 D

電話三〇九二百

松崎松 崎科 義醫 廣院



三宅牧場

二〇八八





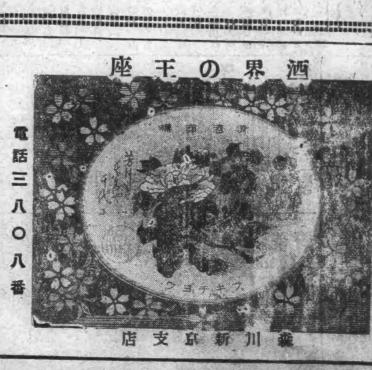
健康の要素の 凡でを含有するは 牛乳の他にはあ りません 牛乳の御用は 皆様の

開業擴張 入院 新京永樂町三丁目 科的原作物的 國都醫院 **紅門病科** 本婦人科 六〇六番

見科科

杏林堂醫院

正午より午後三時まで



日時一月 世出日七曜 一日間 午前十時七日 京 子

知日晝夜

秀湖、翠岩、華峰、弘雲外七十点
竹波、大觀、清香、牧羊、光豐、啓牛
竹波、大觀、清香、牧羊、光豐、啓牛

書畫美術展即賣會

花鳥、銀砂子、金銀モミ街立二十點

主催 新京日日新聞社常三洋行美術部

入場大歓迎 後援

古年位子

銀器

春耕資金貸出

曙

町

Spile.

17 11

所は堀切新記官長をして政友 一 記外 一 したので政 恩請する等領重にその對し乙が著 一十事と、「私間題さし」

内田氏海相と

騎打ち

に終て樊徳安藤正純(欧)氏(東京図画)廿四日の朱明院

さし、此の問題に就いて徒ら、敬頼相の答辯は未だ手ぬるし

の前にぶちまけ一般

一覺悟一

その鬼ない

果然各方面に波紋を年ず

ては一切の事實を事けて過氏より見ても相當物理する必要より見ても相當物理する必要

行は注目されて居る

の師傅は

長は二十大日午日七時か列車 地震温暖官の待遇改善打合 東地派遣警官の待遇改善打合

參謀兵、部隊是鄭國務總理

孫軍李崗堡を

占領尚進擊中

海軍條約問題を提げ

市滿製糖

遂に整理か

して充分なる の誠實を披瀝せばるあくまで様切丁等に 七四日の下

取の好況に乗つて出来た他球(栽培条件の不適から原料能は十日の株主機會に終て歐洲大(民の手に育た中、天氣候其他なしさみでゐるから、結局三)根)栽培が技術的に幼稚な土 今議會に現はれた 軍民離間問

なしさみてゐるから、結局三なのでこの際整理せわば好機

神でで、 一月一日東京發 一月一日東京發 一月一日東京發

「ワシントン社会 用ひか下院本育様 用ひか下院本育様

おおは一般の

議了に付改選の件 職至誠、同僚本献三氏任朝 職至誠、同僚本献三氏任朝

着任人大沙 ・ 大日著任機物に乗址した ・ 大日著任機物に乗址した

大連株式

数に図られ赴任の途についた 単新京都接列車で日浦宮廷条

米國海軍

二八四、七四七

二月九日開催

產金會社

新泉販賣事務所登泉

笠原

海外經濟 海外經濟 元件 元件

先大九四三二名 月月月月月 限限限限限限

大一九。三三四(卵) 単純常費の外に大時備確

《水共二千八倍ス並びに海兵 ・水共二千八倍ス並びに海兵 ・大田 の代艦建造位を計上せや) ・大田 では、 ・大田 では ・大田 では

一、金四萬四千九百六十一回 一、金四萬四千九百六十一回 一、金二萬國 法定避辖金 此の進分 此の進分

一、金二十八鳥九千七百八十二三龍五十銭七屋 葡期純金金

南米へ

(大連調通) 正陸銀行では水
る二月九日午前十時より間行
に終て、定時株主總會を開催
左配群件を暗請承認を求める
書・財産目録、貸借酬照表
損金計算承認の件
一、令十七萬二千五時

時東京都養第十三回目の液米 地々豊嶋原八郎氏は六十の老 堀をひつさけ殖氏の業の第一 線に立つべく二十五日午後九

アス米米経盂間島 現ナチ支日英育質 教 ゴー協協協機銀先題

曙クシー

官が、官邸に一回を招待する人を招待年経を共にした、又人を招待年経を共にした、又中留除長、直轄品除長等十六

六五四三二項 五四三二一袋 月月月月月 月月月月月 限限限限限 一限限限限限込 998 8

技術術誌る 関集一切分标語に数字等 対機術誌を通便新建小人数

讓借家

新京市况

会ニニーションを

原口者 現在の國際情勢より間を打切る。原口者(歌)登壇

水臓場騒然たる程に 沿自駆から各大臣に 対して ればならわさ

西立に就て取相さ一騎打を

研究してゐる

平けて雪筋の原信を買した肌卒事業に米崎賞事の殺到

に就会軍営局は如何なる考 軍人の政治研究並に政治論

資本さなつて活動するから

論を述べい それよ

十年度に行は中で云ふ意味増税の實行を明言せざるは

現役軍人が政治に

11に増税を決行する必

田学生 「用京園園」 日報の提供に報いて日文館像と新く常認に変し、 したので四月の新藤朔を様へ

に依つてこの雑島を政府は弊

使大時半、それより寮

支那議洲國の

焼却令下る

が11 一年 森 俊中 同二年 森 俊中 同二年 森 俊中 同二年 森 俊中 同二年 森 俊中 を収める名門の家に生れて新 ない不祥事であって過去を権 ない不祥事であって過去を権 株 1,000 株式

各地市場

代からの恩師である、陳寰琛氏を决定、師傅なる文字を中止へられるところによれば、B本からの招聘は中止し、天津時かねて瀬洲國に於て研究されてゐた執政の師傅については傳

第一回 第一回

昨日 野正剛君 の衆議院本會議

太傅の稱號を用ふ

野、石本、各部除参謀、獨立のため來京中の久納・加納・領

整理も復活の見込みもつかず(大連國通)十餘年休業の儘

意よ類草糖會に移るこさとだ 質問取の舞臺は二十六日より で関連) 朱暗院に於ける

たが耳の

光陣一

京

撃を開始した、石鳴子、寧夏 間せる孫殷高軍先鋒の騎兵部 寧夏の危機迫る

機能 英は六角である ・ 機能 英は六角である ・ 機能 英は六角である

分につき最早級 本肚工場及び戦艦の分工機

微噪首相さの間に更に質疑應なし、それより小川君(民)さ

は乙を何さみるか に緊張。先づ首相に對し非常に緊張。先づ首相に對し非常 中野君、首相その協関

府に痛烈なる攻撃を放ち、それより財戦闘艦に及び

目睫に迫り

支那側記念大會準備中 當日は戒嚴令を布き

名門子弟の

赤化事件 判决言渡さる

五四三二現 月月月月 限級機般物

一時間に三る長廣舌 小川君亦農村問題で肉迫 る飲やらの方が良いさ思る 一年や二年暗税を延期して

十日の東京智塚生一千四白三 でとの分では四月までには更 でとの分では四月までには更 でとの分では四月までには更 の全基時代だつた明治四十年

さ述べ、次いで軍規問題に及 主義を強化せんさするか、軍部は現在資本

軽く釋明。之にて小川君質

「東京二十五日命國油」名門 子弟赤化事件さして世間を衝 動させた命貴族院頭員八徐子 耐次男際孟(三七)並に東京 市會職曼森子[首嗣子俊中(二 大)等に開すら治安維持任選 反事件は二十五日左の如く判 後官親しがあつた

高至公共 | 公金金 | 公

第七回中等校 スケート大會

萬々歳の一

月

一十八日のうち休みが十日 ノラン作成で大頭痛

事になつた。大典能参事集は ・ 大同報は三月一日新帝即位大 ・ 八同報は三月一日新帝即位大 ・ 八同報は三月一日新帝即位大 ・ 八同報は三月一日新帝即位大 ・ 八同報は三月一日新帝即位大 ・ 一 一 まして ・ 主

脱込であるさ 聯洲帝國人民歌

主観「温繁の思想」に就て

御文章二章 光阿主任布教使安心立命の展光 韓田布教使

せる硫酸を得た日本版を除く

人張振道 (三七) が東北

聲、日本版)

名書「第七天國」の監督ロマン派の巨匠

フランク、ボザーギ監督

ノドルフマンジュー

ス

晝日

の響きをはへで行く よるらば」を生んで永遠 はこの奇しき物語「戦場 信じたかつた、彼の願ひ 病院に淡はる痛ましい彼 世界大戦の平和の鐘の音 速の駒鳥は何を囁いたか は適つた。がのぎ彼が 明日」の恵みのある事を 女の姿を想ふ時、彼はつ のある皆はない。だが、 **研院に駆けつけた時、窓** 製薬へ出る者に代「明日」



0



四本願寺日曜

るるが大同報の此の企ては最

沿線小學氷上大會 郵送印刷物の檢閱

初日は好成績

ソビエットものは赤の宣傳

突留め逮捕に向つたが選挙くるは議抗日の戸魁なる事實を

の内敷英国を密かに織洲に持昨年九月九白英国を印刷しそ

都市計畫法

机空測量法を採用

れて入論、大連、旅順、奉天中で、宮時巧みに絵単を抱

からざら存在でありまして

民政部目下準備を進む

別いてゐたもので議所のみ内地の支那行政人に登つて

対身のアマのやうに作

從ひ東邊道に引載き天野郎豫 雷り、一昨年冬は服部々縁に

地平を急ぐ騎馬の兵あ

きのよの何く

検閲であつた そめ縄東磯でつて送られる印刷者は従来

昨年七月からの 瞬や列車 内の犯罪

國際的紙幣偽造の

析戦場にかでやきて見ゆ。

陰謀事件發覺

一十五日解禁さる

件である。件である。 「長城を踰ゆ」出づ 戦争文學の

収日本き満州、支那に相互観(大連関連)大連水上署は過

一味捕はる 百魁は日本人

村川配何喜命 (二七) 明二

方々に御注意の數々

五年以上二十一年未編の名

お尻の御難

時半鎖火した

の歌へ、跳躍が行つたといふのがんだから、転に申ったらを聴動す

え。更も例お八重がわれえといふ一下大分別無がよさょうだ。

御來診の方にのみ治療致します

け

ど。秘藥

野師堂協

資本 本金店 本金店

東京日本橋通室町二丁目一東京日本橋通室町二丁目一

香地

三井物産株式會



を知ってるる。及お八重の事も 発の太吉は、能く小島三平の選。 (百五十六) 17.4.

でして見ると、あの失来取の火事 でして見ると、あの失来取の火事 る事だけは知らなかった。 知つてるたが、水茶屋和公してる それが一度に知ったので、太古 が遥かくなると、江戸へ降る… 手合の所へ行って、断候で発 ねキョア 今度は続へ出る。江戸近在の観か の附へ無公に行って、船の一代と 際ると取られる。交給と何まって 着る。着ると又直ぐ脱ぐ、脱ぐ してゐる。田舎へ行くと不思

役の邸にゐる位ちゃ、徹即の こんな事で三五郎の消息は、な

新京日 新河山

わえに、卵上げる際にや行かね

かして事に含れ が如今不安日 を英すべき日 早の風に吹か



(大阪)行

大袈裟の事る

内事婆娘して毎

其他洋服附屬品一切

新京日本橋通廿五番

茂

紗

洋

卸商

電話二〇四二番

加藤洋行新京支店

電話三七三一番 前各項關係一切業務 京支店 5 よせ鍋 鳥 0 水 竹食

科管工

運送取损營業

=

保

四曲

六五四

化倉

國際運輸戲

新



整

理

電話三二五〇番

關機防豫書提

密

新京中央通

談先身元調

引

个春流行新柄 豐富着荷陳列

区村岡吳服店

電話二一三七番 吉野町二丁目五



告 第三回分として値段改正仕候と全商品中の一部十数種だけを

電産分グを転にの されか て如いな昨日 9 9 豫で候って 品及處。其 6 御 以" 告に間に近れカ 其。他"昨"要"來 仕ま大き日。テ後の秋、顧の 1 内語ク り。方はよ 來に 原記 候。要なり化"外"ラ其。對為料。 者: む 品 般 化 部 常高 各を申すの粧、商がに騰い 位。得、未、情、品、品、最、に のぎだ勢にに低い 御る値は對意對意價・拘禁 養は程に上は益すしす格だら 成、度をなって をず 3 さの行為は輕以外 御道は價か今之微でて本意快、上ででの日での最に店と 諾をる上、迄は値で優けは を實等十騰;恐。上。良;隱沈 仰2行動 を へ を 品2 忍に き、致に種は來はる實質を自己を表したし限な施し提及重。 度。事。第一に相。る 〔位□ 茲: さ三ク・忍。のに決。回たラびみ ク. 忍。の 値。の 上》甚是

忍い分だの びを値を見りては 候。後"十 事。日号數江 情,改造種。 御と正さを 野な仕。限な 被证候法候法 成於豫2 衛音 下。定。今元 こに回い の有流流 上、之。の

總本店

カテイ化粧品 中 太 陽

すると、内臓の者だ」 は、衆婦の主が誰であるかを突止 見るともなしに、其影响の役かも 意味にもそれは、大脳の動用 英樹へ如照輪が通った。本部は

毎、好感、サービス満點の年御宴會は!! 御目出度う 嬉野で御催しを!!

する必要がある。 即う着へたの

間の高麗から、山手を代込か

殺した別ひ上げた。

能量の別へ立語

所としては三五戦の代方を見に

平に起て、おんかの様か和時

たるから、正面から万公が飛込む

所 目 一 中来。 命物。 本材。 化哪肥料, 工 取 孩 一 侧 谢 用 品, 服 類 肖 他 拂 桩 類 一 数。 大 豆 其 她 豆 類 。 大 豆

100-1 保険・機械、 を対点、反射・ を対点を対した。 を対した。 をがした。 をがした。

にやけかねえ……マア北島まで

町奉行の手でも関アねえが、 るる

『特でよ、戦争が二本差しは煩せ

門前に立った。

彼の修屋敷である大川載之道の

古今末曾有の一大盛儀 モーニングラロック 御人典禮服·燕

生地粤富人荷 智报次 見4時初

手ながら余り期日の押し迫らぬ内に御下命の程

声店

(東京総領)数集総会は一同

答式に変問を展開、内田君

を切る

態よ火蓋

さ質せば、大角飾相は

度したものを大体同様であ

若干異る所もある

では政友會の自田信也若及び 自都相当の間に補充計畫の内 中前の動等會調で自田信也在 動場次書。小川将太郎君さ大 動を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが興味の中心は の動類を銀行するが現まの中心は の動類を銀行するが現まの中心は の動類を表現して民な常の中心は の動類を表現して民ないで午後本會

充計賞立案の非難定されて

第一次補充計畫は第一次律

海相どの問答

豫算總會秘密會

對外的事情に基く

之に即し首相は

答へた。次で内田供也事、

補充計畫で

金解禁の氣運が

到來せば

衆議院で一高極

隨藏相答辯

るに特をも終 は越定法系 本面しめ名の

を質上けに伴ふ損失は終 ですとけに伴ふ損失は終

料務 委配官 水棒 李戰

内田信也氏(政)起つて、海股の手輌き問題を決定のも

議會愈よ本調子

で無相の答辯を求めたるに對

し大角無相は

が、公開の離上質明出来な

特殊も機種する確定である

に、同家社會業の小池四郎、

などの深み最大郎、民政の山

が、公開の離上質明出来な

の高田松中氏、政友の宮澤裕

が、公開の離上質明出来な

の高田松中氏、政友の宮澤裕

・中野正開氏等の大物が一人も

・中野正開氏等の表

さるなるが如何 さるなるが如何 さんなるが如何

海軍問題で

内田信也氏詰め寄る

きのふの衆議院豫算總會

を観改装章を将承も

も経費す

入る。それより四十五分間之 成立し午前十一時半稲密官に を秘密會の動道を出し、動語

わが

國の平價切下

問題

質問した(次號へ積く)

計画に要する純蚕の内容を総密性を開いて軽素の補充

何れにも理屈あり

れる今年は朝鮮機督所の英の消費量は三百萬石で、決ののははないの消費量は三百萬石で、現費量を例年の消費量を例年

リ聯飛行機

國境内に入る

我方から逆捻抗議

敦化、間島の各木材組合に搬

大連木材組合の主張するさこ

如き高率なる

する必要があるが、現在の

地朝鮮材を議州國内に輸入 と乗してゐる。そのため内 を乗してゐる。そのため内 を乗してゐる。そのため内

の4年の増加する木材橋 内の4年の増加する木材橋

一神助 からのでい 國内の かちまてる。 四十歳の輸出組役 から 一郎十歳の輸出組役

の「境ボグラよりの情報によれば、逆途を喰はせる方針であるに、ソ電領事がロフス氏は我國の 方山中に約四、五白名の赤家 に、大型領事がロフス氏は我國の 方山中に約四、五白名の赤家 に 人間を登したが他方領ソ東都國 方は詳細に取詞べ、ソ朝側に は (ハンビン関連) 黒河駐在の 二十一日午前一時頃ポグラ北

で年まであつた一立方米に して増加してるない上に、

性七日午後一時から新京木材 世七日午後一時から新京木材 世七日午後一時から新京木材 関業組合に於て協園を行ひ補 側國政府に對し、反對章志の たが中回の問題は、大速及内 たが中国の問題は、大速及内

は順害のため伐り出し困難の不可至百五十萬石で伸手を指別がの年間輸出高は七十

遂に烽火をあ

のであるが、誘拗側では右の場を顕洲に求めんさしてるち

福州の山林を開発するため 語型には充分度が辿る見込

新京木材組合が音頭取で 廢に猛反對

門等斜齒 山 島野 当州小島 飲節

白系各團体

台の協調會に終ては右案を研一運動を開始することさな

なつた

して来たので、日孫経済国体 代養を訪問し右決議文を手交 した

切下

げの程度

一月上旬に提案か

中銀週報

自大同三年二月十四日

けふは大示威 北域ソ聯側首腦部糺彈で

再び手交 决議文を

新京地方事務所易荒木章氏は 二十七日午後六時半から地方 二十七日午後六時半から地方 元木氏記去招宴

至大局||二年二月二十日

の平仮切下けは質は金いの中仮切下けは質は金い

出再禁止の際からの

滿洲國辭令

は大体次の如き答辯をなし は大体次の如き答辯をなし は大体次の如き答辯をなし は大体次の如き答辯をなし は大体次の如き答辯をなし

一既定一て、今里取

育十時頃よりハルビン全市に體の大デモは怠上二十七日平 旦つて単行される事さなつた

出したる決議女を名宛が不備 職部は去る二十三日日議評額

ださの理由で不部合にも突返 確詰を減じ 冷凍魚を増す

るものも思想的には米炭田容

常業者近く協議

財政部屬官

の食者を促し、内外北流住民の食者を促し、内外北流住民

らその時こそ可氏にはつき

任軸殿縣多事官(鷲任八等)

芳彦

任八等) 液同等總務廳助榜 特任黑體江省会署總務廳助榜

り明示する心味だ

擴張論有力 く政府の方針は粉來英米タロ以上に低り略々明白。新の如

八等)颁詞署5/攻祿動務黑山(鎮任奉天省金署事務官(鎮任和一郎)

任赤綠縣沙事可(鷹代八号) 接中縣岛東官

和任极中縣必事官(萬任八等)

世 中 ラ の

村上 仰文

操短護協論が有力であつた 外の懸念があるから据置乃至 利の懸念があるから据置乃至 スその 他世界の

645 一主要一の若くは協

にするさいよ種館なものさみが到来したならば、我禍も順に依り安定し金解禁の無速

米穀會渡

派问署片政總動務

任熱河省公署技正(鷹氏七号)

本半路定数量を完全に突破して東京報通」機材等酸表公定(東京報通」機材等酸表公定(東京報通」機材等酸表公定 任職發院審計官(舊任三等)派 問院審計部動物

沿同島技術處動務彰武縣参事任國都建設島技正(鷹任八等)

衆議院本會議

本會議

田、宮崎兩君起つ

郷の決定次第書業者代表冷凍制し限組合共産制なく出貨比

船舶安全法 #天省会署事務官 #天省会署事務官

時五十五分等列車で來京した職場の見順を終へ同日午後六年間は廿六日会主福農事試 特任彩式縣参事宜(<u>舊</u>任八0) 宮崎農學博士

の高甲辰甲間間では、一世谷中の に便敷の用論あるが並行。 で、東京園選)を相比で改立 又成防外交力策について國内の 主さして賈詡、それより改立 又成防外交力策について國内の 主さして賈詡、それより改立 又成防外交力策について國内の に便敷の用論あるが甚だ面白の たい (東京園選)を構院本言議は 如きものを設けて國政を審護 (東京園選)を構院本言議は 如きものを設けて國政を審護 (東京園選)を

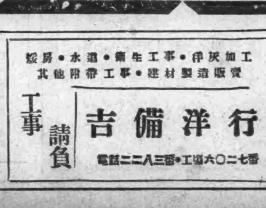
課人。

保証は二十大ロケの加く任命(根京國語)外務省調査部名 五分

任命較表する

十四歳より十八歳まで保過 國華ホテ 北對於田県宗~!!人取~!! 天草八 (雄學清津出明 一放锁引,用京个国家列争 品 指本 汽本 泉泉







N.2.

の高折









情は人の爲ならず

情隊長をめぐる

涙ぐむ 美談

nkに寄せる 周圍の同情

溢れる帝都の装ひ 全市泰祝大會は大同廣場で 市政を配方法決る

粉二千五百名

市政公署で準備に

二千五百名にも上るが適當な び各官職の官吏を訴へるさ約 大陸春、を配飯店よの他で行

ともが、 を あるこさにな ともが、 遺電な

にくる依を持つてホームに 並んに刻み追る後単前に病祭 の選手見送層代表の核移原接 あり、検教で送るれたが三校

二月一日からパスが開通して 二月一日からパスが開拓される胸安縣の産業税祭 間筋明片、鏡のため線入租舎久末週事、鏡 が京取引所員。学質川、和田 新京取引所員。学質川、和田 新京取引所員。学質川、和田

め、所京在郡政人皆さら、ここに関し、村京在郡政人皆さら、ここに関大が設見し取神力を新京署中から縁命して氏を入院せし、家人が設見し取神力を新京署使品からるほごで氏が中國病温さなる。前十一時ごろ新京郵便品から 古野町エヌヤ秤服部から三十に順出た。開署では直に刑事

新京驛は一杯

夫の留力

旅客案内の

親切に感涙してゆる

柳里に帰南せしめることと 一旅野 と引き受け を引き受け

電氣擴聲機

新京にお目見た

きのふ見物人で大

新京地方事務中の卷

込んで見趣りの

ナンバーワン

ではないを思ひます。

大豆の

三蔵まで本人來談

皆 樣 どうぞよろ

三笠町二丁 電話三四一〇番

南嶺の退役少 同じ筆法で達者 憲兵隊で活動開始 佐△殿△ に稼ぎ廻る

中市ので、同一手段で企を得 現在はピルディング地数計畫 現在はピルディング地数計畫

の、相手が遺役職事学佐のた 選は、軍人の見上にもなける

夫に甘い愛の巣 守中に

家財

話三七三四 店

梅ヶ枝町一丁目十二ノニ

一、金大百編也 法定積立金 一、金大百編也 別途補立金 一、金大百編也 別途補立金 一、金一千四百屬也 別途補立金 一千四百屬也 別途補立金 一、金二百五十屆也 金二百五十屆也 金一千四百屬也 金二百五十屆也 金十四百三十九屆一十 五級也 後編纂總金 右ノ通神也 後編纂總金 信金鼬蛛會社 全篇調理師取締淵上雅 司急等 ・大連病院入院中の處數 石効 ・大連病院入院中の處數 石効 ・大連病院入院中の處數 石効

新電路後も受更せず現在の領 新電路後も受更せず現在の領 新電路後も受更せず現在の領

そのまっ

名 軍位 工工

単校は更に二十七ヵ年 すものがかった、なほ 協和合 昨年度中の總勘定 の普及に 質の活躍 ○十 人々(四。万年)が出彼するこ

京都 の一種さして次の が であるが大同二年度に 通識してゐるが大同二年度に 通識してゐるが大同二年度に のであるが大同二年度に 一統計一なる。 東現在の生徒数は四千二百九十二名に選して居るが従来の所教授は関修業年限等不統一であるのでこれを統

根、近く以降、毎官、蒲鐵

けふの催し

の勝事に数は卅八、分言数 の勝事に数は卅八、分言数 九百六で協州減各地に放在 する全有員数は二十七萬三 千五百六十八人、大同二年 七月から十二月宏に新設さ れた鮮事属は十二、母各現

地の要求に雌じて日糕

司法係では大困り □十五茶地ノーへ

女中數名入用

介謝絕 姓名在社

讓借家 対域情談る の「充浜」水道はの機能 道は一切弁解機に飲ま密 が成場を通便所建小人歌

石田町

(キャグラムの五

第一頭に構える長の壁位の

発(斤の中華金

一年(尺の一角分の一) 一年(尺の日分の一) 一年(尺の日分の一)

(立方米の百萬分の二)

方粉(立方ブシメートル) 方粉(立方メートル)

掃匪工作が開始

吉林全省殘匪絕滅を期

ろものを謂ふ

丈(十尺)

(立の千分の一)

(世の十分の一)

(百尺)

第(千五百尺) 第(千五百尺) 第(畝の千分の一) 発(畝の百分の一)

(育立)

帯鲵に掲くる長の蟹位の平

五(グラム)

(駐の百恵分

遺選手

A ウブ

海の外から

方米の三百五十二

一十五日 昼布された 南州 圏 ゼ 五 日公布 滿洲國度量 本方題(平方センチ

方米は米の立方の間積さ

死後間

展開加州

14

0 遭難 者

へし但し本法又は實業部合
「法又はメートン法に使る
「大子」というとは、 (中方米の百分の一) 古米の一覧分の一心 (百平方米)

チ(立方センラ

皇軍再度

計畵進む

廿六日建プロ

・イフとく 塩い信便になつておったの形式をうけ、今では必要より 一個の形式をうけ、今では必要より 一 間してあると、女は茶をいれて

がこのお窓なのである。」 を、縁然の歌ぎを高野山へ行めに手で河へ投げ込まれやうとしたの 助けてやつたのであったが、それ

日; *生 0 聖女, 部館平

ちよつと待て

人。

四

か

章 葵

①東京関連〕透信リニールを開放しまれた附近で、東京関連」透信リニール

4 m + 1 m x 5 m = 2 m = 2 m = 3

三名發見

し続してある棚の先出、桜村敷されることである。このお方根が敷をお話した。このお方根が敷をお話した。 音兵衛の離れ家(w) 通り合した心が掛けてやつたの た似物で死ち で然うであつたか。然うしてる たのでごろうます」 その日の変に関って他なるの したことになり からにして膨み込み、そのが限を の配見扱いで置た。このお完成な で、物模は揺へられた上、大阪の 「宋は何くせ、はりつけ柱かる」 とてるた数で広が着めてやったの かまいものでいるのますと 方にめぐり合かものやら、世間は お定は官つた。 「ひのしつかりしたところはそ 同處に何う智ふ酸で切つたお

·醫学博士の問題·佐々弘雄·長崎伏魔殿の内幕·大庭耀

字関抗爭の内幕・安田徳太郎・疑獄問題の批判・高田義師

日本 風象 記 (整数がデー

ブ



● 質量を配置のカイゼル傳

〇吃

しけ特殊なー

低け

同時上映

郷 ある人物語論 高端 いいこれでは 一郎 おもらう 谷崎里一郎

伊藤秀五郎

これがにお目にかょります。 深 するとお母はア朝に町を下げて れとせん3 大松、一郎に行くと

旦夜は明くろ

宇

廿七日封切

新粋の水の氷の温度に於け

尺、結解しつつある

京都派美術品

飲は九千平カ尺さし本

きし平方尺

グラム原器の

全滿

大時四〇分 大時四〇分

又五郎兄弟

之元

M

大時 〇分 五岭五〇分 五年四〇分

木一定 (決定状型道つて發表)

日午後

一時より

米田精参のことが組む簡単なすれを歴史けます)

世へのあるやうにまむくしとっは お気にてもまた戦之歌の難を見 こ 間をつくしてみまるつを概念 カの屋が進のずに弊人つたとした。 古の屋が進のずに弊人つたとうであらう。 あの員 こと北方向かい」 さべはないか

「あるのうとどうとります。 大阪 したことがござります」 でしたことがござります」 で 「うち無ひ出した、お記録、秋のはまだに初に落らのではない。 韓か は 「脚ン瓶であらうが、香噌は あらうが、お砂糖をあどわれした が対りさべすりや、最分離の中に 大れてあつたにしても、飲給中に 大れてあつたにしても、飲給中に はつこの市民前、 数み出すのにず

のでいっちりますかり ねばなりません お出て、日本地域める一うにして関人の紅を観賞って聞いてるた いお探検が何うかほされました

・ところによると、動が深が限時 があつて深から大阪へ下る彼山の 新石舟の中で、一人の肉板が一人、

九京京 即前

中央公論社

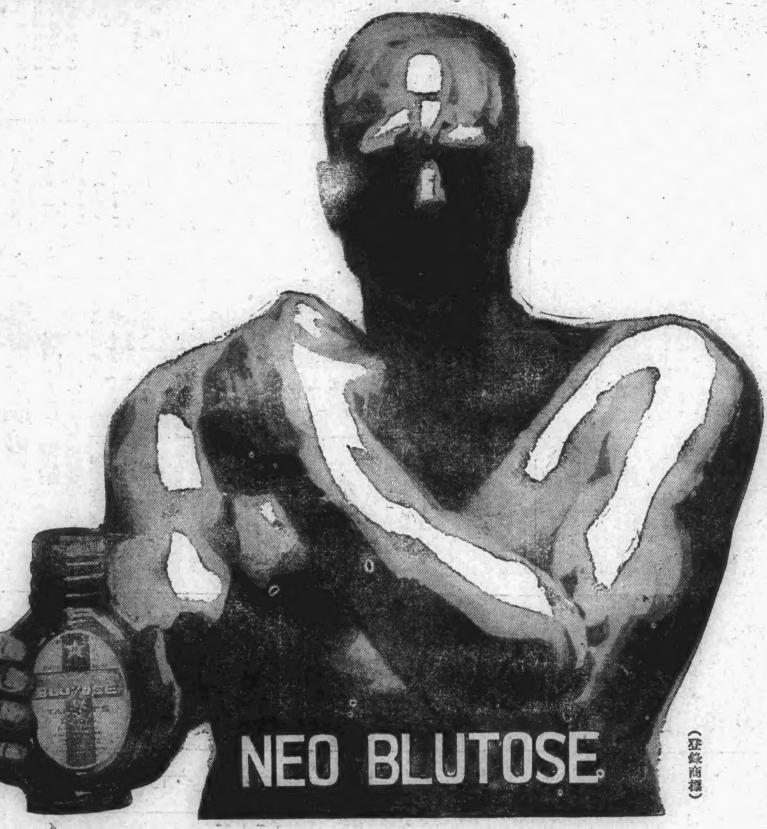
かう言つて数之永が吉兵所に話!

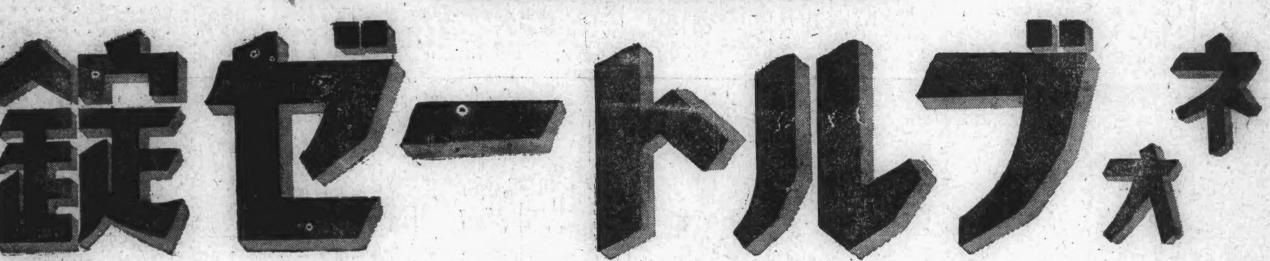
ので先づそれから吸つけて耐から ではまたかいくれ行衛が知らない

| 特八十銭



素晴しい本が 生は





は持保康健 性中が液体

主

食慾不振 增 **使養不良** 隐

症 婦人中原病 神經

精力減退

藥價低廉

不良 佝僂病 对血

産前産後の衰弱

人血の

ヒステリー

な成ネ全る發もに如らをオと 生そは何 し促プな若すの種に め進ルりしる反反して 住造 身類こを塩体 康血ゼ体がの變類液体環錠虚不酸化がの に流の弱足性せ適中 養るの障為内有か の配不害にでれると おに 起体経 と依骨るにえない

なて軟 塩ず及り塩化先類新ア吾 類症づの陳ル々筋を等骨必代カの肉補をの要謝り細 組給惹發がにが胞織し起育起依入原 をてすがつてり形 強骨る不て酸來質 完來をる中

錠ゼードルブ分次 と能萬食肉 化變の体肉

障全ネが昂衰ち奮は 害身オ多進耗神作重 をにプくしす經用大 立主しるコ樞造に各 病薬たオレ機血貢帝 院ネもツス關促献。 未循ル且でる衰をな 然環トつ途の弱與關 にせー中にみにへ係 響才のセテの進し大 **家プでイリ**强のつ學 かル築ンン健造、病 らト理 を楽血あ院 昼 | 學動含レホる指 防しゼ流死か陷るが ぐめ錠以の血り爲あ 効ての上轉液物にる 果精常の歸濃事充 が力用家を厚に血即 んゼ的物むチル補定 あをは庭とと感をちる充腦にるな動來血 資の脳なるした液 し疲盗ご結易すを 居學的ウ分ギ胞ル古 新勞血 果くに濃 古き歴史とからしてある 大学の大学では、 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 、 大学では、 大学では、 、 大学では、 、 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 、 、 、 は 、 、 は 、 は 、 を恢譯に不易此体 旺復は神良く際力盛し暸經と不腦を

各な三成にレ末多地を大を重1化年

官も配促要ン心治

公の創進な 之療 私でをする脳に界

し鮮る 血と勞すめなもと壓なさる るのスはりせが か血がテ著 る腦 ▲液ありし精とに るをる | く力忽昂

な然衰な眠を増

程能効は薬 はとぬか効

言さタやあたとのよ 別れも他る處臍よく をたンの位がをう聞 專けにい前酵確の 門で吾 か素か結 家の々又ら な果 でた人ど麴や榮選

であるいか。 大類は漫然を持つて居ら を消化剤とした配動的に が最近科學額的に が成かした。 を消化剤とした。 を消化剤とした。 を消化剤とした。 を消化剤とした。 を消化剤とした。 を消化剤とした。 を消化剤とした。 を強いた。 をないた。 をなな、 をないた。 をないた。 をなな、 をなな、 をなな。 をなな、 をなな、 をなな、 をなな、 をなな。 をなな、 をなな。 を れ發に白鎌たら近る見じ質がてぬ頃

星第 三百六十段入 五千百八十段入人 一円八十支 一回四錠 NB 101

代这 進大

叮修道医大 店商吉友澤 蘖

